

物価高騰を上回る賃上げと格差是正を

カジノを止めて、いのち・くらしを守る大阪へ

要求運動と仲間づくりを結びつけた大運動を

第92回中央委員会



冒頭挨拶する有田委員長

大阪自治労連は、5月7日、中央委員会を開催。冒頭、有田委員長は、能登半島地震による被災者にお見舞いを表し、「大阪も例外ではなく、向こう40年間に『9割以上』南海トラフ地震が起こる。夢洲にカジノはいらない」と強調。新型コロナウイルスの5類移行のもとで「いのち・くらしを守る政治の実現をめざすたかが重要」と述べ、「やりがいある自治体職場を実現するとともに、すべての労働者が人間らしく働ける社会実現の展望を示し、『現場の力』を今こそ発揮して、住民との共同を広げよう」と呼びかけました。討論では19人の中央委員から発言があり、①物価高騰を上回る賃上げ、自治体非正規労働者の格差是正、職場要求を実現するたがい、②憲法と地方自治を自治体行政にいかし「公共を住民の手に取り戻す」運動、③カジノ・IR・夢洲万博開催を止めて、いのち・くらし最優先の府政をめざす運動、④いかなる権利侵害も許さず、労働者の誇りと権利を守るたがい、⑤憲法を守り、大軍拡、増税に反対するたがい、⑥労働組合の姿を見せた仲間づくり、を柱とする2023年夏季闘争方針を確認し、あわせて「カジノよりも、いのち・くらしを守る特別決議」を採択しました。



提案する仁木書記長

物価高騰を上回る賃上げ自治体非正規労働者の格差是正、職場要求実現へ「大幅賃下げの人事・給与制度改革提案は、弁護士意見書や交渉を重ねる中で、6月議会提案を見送らせた」（和泉）、「会計年度任用職員はいまだに夏季休暇など格差がある。この夏には格差を解消したい。コロナ休暇など特別休暇は当面継続を要求する」（羽曳野）、「会計年度任用職員の雇用不安は解消されていない。この夏のたたかいで当局に迫及することが大切」（関連評）、「人員確保が急務。経験や技術の継承ができないことなど、職場要求を引き出しながらがんばる」（東大阪）。

憲法と地方自治を活かし公共を住民の手に取り戻す

「府知事選挙では、公共の役割に、全世代で『高齢者・障害者福祉』が最も多く、10〜30歳代では『子育て支援や教育環境の充実』が圧倒的多数に。カジノ誘致は反対が6割超。『維新』対『市民』は明らか。政治を変えるたたかに奮闘する」（堺）、「府内7市が広域水道企業団への統合をすすめていたが、和泉市議会の否決により白紙に。水道の広域化は地方自治を奪うおそれがあり、今後も住民と大いに議論を広げたい」（公企評）。

労働組合の姿を見せて仲間づくりをすすめる

「組合事務所でのランチ説明会や新採職場への出張説明会を開催。職場の組合員の声かけは効果

や意義が強調されたが、共感を広げきれなかった。改めて私たちが日常的に発信し住民の中で語る運動の積み重ねが必要。府民と職員で維新府政を止めたい」（府

大阪カジノ計画を認定した岸田首相と国土交通大臣に断固抗議する！ カジノよりも、いのち・くらしを守る特別決議（要旨）

政府は4月14日、「大阪カジノIR計画」を認定しました。住民合意もなく、ギャンブル依存症対策など、多くの課題を抱えたまま、カジノIR計画を認定した政府に断固抗議するものです。審査委員会の結果報告書を見れば、「高い国際競争力」は評価されず、「コンセプトも不十分」。入場者数や収益等も「過大推計となるおそれがある」とされ、そのほか、土壌汚染に加えて地盤沈下や津波・高潮・液状化など防災面でも「高評価はし難い」と問題視されています。何より報告書では、「大阪府・市が『カジノIR計画』に申請後に、カジノIRに反対する団体等による、住民監査請求、民事訴訟、署名活動等が存在している状況であり、地域住民との良好な関係構築に関しては課題が残る」と指摘を受けています。カジノより、住民のいのちと暮らしが最優先！私たちは、「カジノIR計画」の中止が実現するまで、粘り強くたたかうことを改めて表明します。



議論に耳を傾ける参加者

職労）、「職場要求の実現のために、市長選挙・府知事選挙をたたかった。たつみ候補の訴えに共感した仲間が輪を広げた。行動する人を増やすために組合が見える運動をすすめる」（大阪市労組）、「八尾市長選挙で『子育て支援』『自衛隊駐屯地問題』などで論戦したが及ばなかった。引き続き、公共をとり戻すたたかいを奮闘したい」（八尾）、「これまでの平和・民主主義を求める運動、野党共闘を求める市民連合、カジノ反対の運動などと共同を広げ奮闘したが及ばなかった。引き続き市民が主役の吹田をつくるために全力あげる」（吹田）、「市民アンケートでは、『行政やまちづくりで力を入れてほしいことは？』の問い

に、全世代で『高齢者・障害者福祉』が最も多く、10〜30歳代では『子育て支援や教育環境の充実』が圧倒的多数に。カジノ誘致は反対が6割超。『維新』対『市民』は明らか。政治を変えるたたかに奮闘する」（堺）、「府内7市が広域水道企業団への統合をすすめていたが、和泉市議会の否決により白紙に。水道の広域化は地方自治を奪うおそれがあり、今後も住民と大いに議論を広げたい」（公企評）。

抜群と実感している」（枚方）、「いろんな人が組合役員になれるような組織改革が必要。生理休暇取得についての取り組みなど単組の実践も共有しながら、みんなで決めて取り組み活動をすすめた」（婦人部）、「コロナ禍で様々な困難があったが、加入者は若干増えている。この3年間の新規採用加入者の歓迎会を開催。その後、次の企画へと輪を広げている。声をかけられるのを待っている人、声かけ次第で加入する人があるはず。もれなく対話をすすめたい」（府職労）、「4年ぶりに新歓を開催し組合加入につながった。次は2年目、その次は3年目へと歓迎会に取り組んでいきたい」（交野）。

衛都連も中央委員会を開催

衛都連も5月7日に第167回中央委員会を開催。統一交渉の日程を含め夏期一時金闘争方針等を確認しました。

第1に、相次ぐ物価値上げのもと、人事院勧告待ちではなく、各自治体当局に雇用者責任を迫ります。第2に、民間で人材確保のために初任給が大幅に引き上げられるもと、自治体でも初任給引上げは待ったなしです。第3に、会計年度任用職員への勤勉手当支給を可能とする法改正が行われたもと、勤勉手当を支給するかどうか委ねられた各自治体当局に労使交渉で迫り



力強く「団結ガンバロウ」を唱和

ます。また、国の非常勤職員の給与改定と同様に自治体でも4月遡及を求めます。さらに雇い止めの不安解消を求めます。第4に、定年引上げに伴う課題がまだ残っているもと、労使交渉で解決をめざします。第5に、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に変更されたもとでも、発症後5日間は「外出を控えることが推奨される」ので、会計年度任用職員について特別休暇を廃止するならば、病気休暇を正規職員同様に付与するよう迫ります。

統一交渉程	第1回	5月16日（火）
	第2回	5月18日（木）
	第3回	5月23日（火）
	山 場	5月25日（木）

各自治体当局が雇用者責任を果たすよう求める

今月のキーワード

オンラインカジノ

パソコンで海外の会社が運営するオンラインカジノサイトにインターネット接続し、同サイトのディーラーを相手方として行う賭博のこと。海外で合法的に運営されているオンラインカジノでも、日本国内から接続して賭博を行うことは犯罪です。実際にオンラインカジノを利用した賭客を、賭博罪で検挙した事例もあります。賭博をした者は50万円以下の罰金又は科料。常習賭博罪は3年以下の懲役です。

今月のキーワード

G7サミット

主要国首脳会議のこと。フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダの7カ国。2023年は日本が議長国。広島サミットが5月19日〜21日まで開催されます。エネルギー、食糧安全保障、核軍縮・不拡散、経済安全保障、ウクライナやインド太平洋などの地域情勢、また、気候変動といった地球規模の諸課題を議論します。広島が世界の平和をつなぐ場所として開催地となりました。